

Ramucirumab biweekly

対象疾患	肝細胞癌
投与間隔	2週1コース

催吐リスク	最小度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日																		
							1	2	3	...	14														
RP.1		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○																		
		ポララミン	5mg	インラインフィルター使用																					
RP.2		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	60分	○																		
	○	サイラムザ	8mg/kg	点滴時間: 初回60分, 2回目以降30分																					
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○																		
				初回・2回目は投与後、60分間の経過観察をすることが望ましい。																					

<参考>最小度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法					
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
	通常予防的な制吐療法は推奨されない。				

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

Atezolizuma+Bev.triweekly

対象疾患	肝細胞癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	最小度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日															
							1	2	3	...	21											
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分	○															
				インラインフィルター使用																		
RP.2		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン		○															
	○	テセントリク	1200mg/body	点滴時間: 初回60分, 2回目以降30分																		
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○															
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン		○															
	○	アバスチン	15mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分																		
RP.5		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○															

<参考>最小度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法					
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
	通常予防的な制吐療法は推奨されない。				

- 制吐療法の一時的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。